

「秋田市上下水道事業基本計画（素案）」へのご意見と本市の考え方

1 意見募集期間

令和6年12月18日（水）～令和7年1月16日（木）

2 意見提出者数

8名（意見数11件）※市民100人会からの意見も含む

3 寄せられたご意見および本市の考え方

No.	ご意見の内容	ご意見への対応	
		市の考え方	ご意見に関連する本計画の章
1	娘や孫たちが千葉に住んでいます。秋田に帰って来ると「秋田の水はおいしい」と言って喜んで水を飲んでいますが、いつも当たり前のように水を飲んでいますが、秋田の水は冷たくておいしい水なんだと改めて思いました。これからも安全でおいしい水を飲めたら幸せだと思います。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き安全・安心な水道水の供給に努めてまいります。	第5章 1 安全な水道水の供給
2	仁井田浄水場に粉末活性炭浄化装置を早急に設置することを要望致します。同施設は老朽化により改築中ではありますが、国の基準内とはいえネオニコチノイド農薬が水道水に含まれています。ヨーロッパでは、この農薬は小さい子どもが長年摂取すると神経系の障害が起きるとされ、使用禁止又は使用制限されていると聞いております。水道水に含まれた農薬を子どもたちが長年飲んだ場合、健康被害が発生する可能性があります。仁井田浄水場の改築完了2026年7月を待たず早急に粉末活性炭浄化装置の設置をお願い致します。	令和6年5月、8月、11月に当該農薬の検査を行った結果、すべての検体で国が定める目標値の1/100を下回っており、安全を確認しております。 なお、粉末活性炭処理施設については、設計、工事、試運転などに相当の期間を要するため前倒しは困難であり、令和9年度内に完成予定の仁井田浄水場等整備事業の中で設置することとしております。	第5章 1 安全な水道水の供給
3	10年位前までは、自然に恵まれている秋田県は質量とも全く問題はないと思っていましたが、最近の災害で特に目立つのがライフラインの水道工事の復旧のおくれです。能登地震でもかなりの時間がかかっていると思います。過疎化が進んでいる秋田では、より大きな問題になると思います。そこで、色々と課題はあると思いますが、今後も鉛製給水管の解消や管路の更新の平準化については、その対策としてよろしくお願ひしたいと思っています。	いただいたご意見を踏まえ、今後も、激甚化する豪雨災害や大規模地震に対応するため、上下水道施設の耐震化・耐水化を計画的に進めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
4	計画としてはとても良いと思います。昨年の水害を教訓に、作業を出来るだけ前倒して進めてほしいです。	今後においても引き続き市民生活の安全・安心を確保する浸水対策の早期実現に努めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
5	素案に対する直接的な意見とは言えず恐縮ですが、関連質問です。 R5年の水害で秋田駅東を中心に大きな被害がありましたが、この件について秋田市とは別の市の職員の方から「秋田市ではこのような水害があった場合に汚水が直接流入する」といった旨の話を聞いたことがあります。私も詳しいことは判らないので何とも言えないのですが、その市では秋田市と方式が異なるのでそのようなこと（汚水の流入等）はないということでした。（報道映像等で、冠水した道路をジャブジャブ歩いている人がいるが、あれは汚水の中を泳いでいるようなもの、とも）そもそも私に知識がないので、どういった現状なのか判らず説明を受けて理解できるかも怪しいのですが、この辺りの概略をお訊かせいただければと思います。	下水道には雨水と汚水を別々に排除する分流式と、一つの管で排除する合流式があり、本市では駅東側を分流式、駅西側の中通、山王、八橋地区などの市街地において合流式で整備しています。 合流式下水道は、雨天時に一定の流量を超えると、希釈された下水が河川に放流される仕組みとなっておりますが、雨天時に行っている水質検査において基準値以下であることを確認しています。 今後においても引き続き市民生活の安全・安心を確保する浸水対策の早期実現に努めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
6	全国的に水道管の老朽化による漏水が問題となっているようですが、秋田市の場合そこらへんは問題ないのでしょうか？ 素案には特に触れていないようですが。	令和5年度末の水道管路の老朽化率は、全国平均23.6%に対して秋田市では11.1%です。 全国的には高度成長期に布設した水道管路が更新期を迎えており更新需要が増大しています。秋田市の場合、高度成長期に布設した水道管路の更新は概ね終えており、今後も計画的に管路の更新を行ってまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
7	個人的には、舗装道路上の水道管工事が完工した後の、舗装の埋め戻しが悪くて、デコボコ状態になっていて、快適な通行ができない状態のままだったり、綺麗な舗装道路の景観を台無しにしている例が多すぎる。 一例としては、現在は綺麗になったものの、従前の土崎小学校前の市道？はひどかった。 道路を管理する部署などとの連携や情報交換をしているとは思いますが、もっと強化すべきと思う。	道路舗装の復旧方法などについては、道路管理者と緊密に協議を行いながら状況に応じた整備を進め、良好な舗装となるよう努めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
8	秋田に住む一般市民は、秋田市上下水道を利用する一択なので、資料のアンケートにあった通り、望むのは「安心安全な水」であり「地震や災害に強く断水などない安定した水道」です。施設の老朽化や市民の人口減少による収入の減少など厳しい現状が続くようですが施設の統廃合・経営の効率化といった事で改善される面もあるようです。蛇口をひねれば水が出てくるというのが当たり前の意識で素案を読むと厳しい現状に素人は何も発する言葉が出ません。頻発する地震や水害に耐えうる施設を人的な技術力で次世代まで続くよう願うばかりです。	いただいたご意見を踏まえ、激甚化する豪雨災害や大規模地震に対応するため、上下水道施設の耐震化・耐水化を計画的に進めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
9	令和5年7月に洪水があり、予想がつかない事がおこりました。すぐ1Km圏内の地域が洪水になりました。父のように一人暮らしの方や体調の悪い方は、水が出ないと困る方々がたくさんいると思います。 何か自然災害が起きてしまった時も災害に強い上下水道になる事を願っています。	いただいたご意見を踏まえ、激甚化する豪雨災害や大規模地震に対応するため、上下水道施設の耐震化・耐水化を計画的に進めてまいります。	第5章 3 災害に強い上下水道の構築
10	大正7年から住んでいた実家は今はありませんが、家を壊す時、隣の家の方に水道管が出ていた事を初めて知りました。父が一人暮らしになってからは、父は耳が悪かったのでお風呂の水が流れているのに気がつかなくなったり、冬はトイレや台所の水が凍ってしまったり、家に誰も住まなくなってからは、氷止めの手違いで春になり氷が溶けて水が流れ大変な事になってしまいました。初めてだったので、水道料金を安くしてもらい助かりました。水道メーターを点検に来てくださる方も一人暮らしの父に声をかけてくださり、感謝しています。 自分の家に点検に来てくださる方も孫たちが来て、洗たく等でメーターが上がっていると「何かありましたか？」と声をかけてくれるので助かります。特に思ったのは、誰も住んでいない家の管理は難しいと思いました。	引き続き、ホームページやSNS、広報紙なども活用しながら、お客様のニーズに対応するためのきめ細やかな情報提供に努めてまいります。	第5章 4 お客さまサービスの向上
11	基本計画案は、担当者兼専門家が検討に検討を重ねて作成したと思われる。基本的理念も含めて、「よろしくご検討お願いします」ということになる。 問題は、計画を具体的にする際の予算執行が適正かどうか、執行後の検証がきちんとなされているかどうかなど、市民・国民の観点からチェックしてもらいたい。 個々の工事単位で、工事内容と予算執行について、検査・監査をきちんとしていただきたい。	いただいたご意見を今後の事業運営の参考にさせていただきます。	第8章 1 計画の進行管理